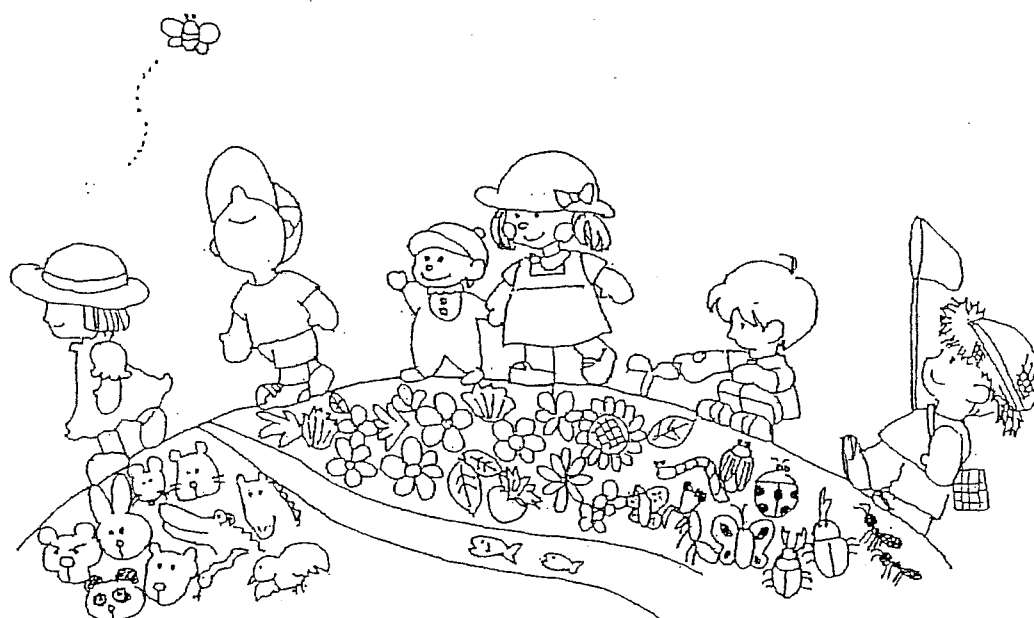


# 子育て支援に取り組む地域 活動推進シンポジウム in 大分

— 地域ぐるみの子育て支援活動のあり方 —



◆とき

平成18年1月28日(土)

◆ところ

はさま未来館

◆主催

財団法人あしたの日本を創る協会  
大分県生活学校運動推進協議会

◆共催

挾間生活学校「るぽ」

◆後援

独立行政法人福祉医療機構  
大分県教育委員会  
由布市教育委員会

基調講演テーマ

# 地域ぐるみの子育て支援活動の重要性

## 学校・家庭・地域で育む子どもの生きる力

高田悦也

### ① 子どもの生きる力を育む目的と方法

[目的] 育成の「成」=成就……私たちの子どもたちへの願い  
 子どもたちに人間としてかけがえのない人生を成就させたいという願い  
 子どもたちが生まれてきてよかった、生きていてよかったといえる人生を送ってほしいという願い

[方法] 育成の「育」=養育……私たちが子どもたちにしてあげられること  
 子どもたちに「生きる力」をつけてあげること

2つの生きる力	
教育……教え育てる（学校） 未来を生きる力	養生……いのちを養う（家庭・地域） 現在を生きる力
子どもたちの「未来」を成就させる 学校や社会で身につける「生きる力」 大人になって必要になる知恵や力 やるべきことをやる力 一人前の大人になるために	子どもたちの「現在」を成就させる 家庭や地域で身につける「生きる力」 今日楽しかった明日も生きてみようという力 やりたいことをやる力 今このときをかけがえのない時にするために

### ② 地域における子どもの健全育成の課題

・いまなぜ地域での青少年育成が声高に叫ばれるのか

子どもたちがなくしたもの

- i) 自然環境 大人の管理(目)の届かない空間、空地や路地、雑木林や遊べる川。
- ii) 社会環境 「子どものやることだから」と子どもの現在をありのままに認め、受けとめる懐の深さ、余裕を持った大人。

かけがえのない「子ども時間」を持ってなくなった子どもたちはどこへ行ったのか。

「勉強しなさい」→学歴社会のなかで受験競争に追い立てられた

幸せ=物=金=仕事=学歴

・子ども時間を取り戻す「学校週5日制」導入の意味

未来のためにという理由で管理され抑圧されてきた子どもたちの現在に、今日生きていてよかった、楽しかったと思える時間を取り戻す。

子どもたちにかげがえのない「いま」という子ども時間を成就させなくては、一人前の大人になるという「未来」の課題も成就できないという認識。

子どもたちの「現在を生きる力」を養うという家庭の役割を地域が積極的にサポートしながら、子どもたちの「未来に生きる力」を育てる学校との連携をすすめていくことで、子どもたちの今日をかがえのない楽しいものにする。

そういう目的の達成に向けた地域の課題は次の2つである。

i) **居場所づくり**

子どもたちがのびのびと自分自身でいられる居場所（居心地のよい場所）。

やりたいことがやれて子ども時間の「いま」を生きられる場所。

大人の管理・監視の視線が届かない場所。

ii) **大人づくり**

子どもたちの喜び（哀しみ）を自分の慶び（痛み）にできる一人前の大人。

子どもたちの「現在を生きる力」の大切さを自覚する、懐の深い大人。

建前を振りかざし、許可か禁止しかない管理的な大人のまえでは、決して子どもたちは本当の自分をださない。

### ③ **学校と家庭と地域の連携**

人間にとってこの2つの生きる力のバランスのとれた人格の形成が不可欠である。とくに子ども時代における「養生（いのちを養う）」の過程は、その後の自尊感情・自己肯定感・自己同一性の安心感といった人間らしい心の形成に大きな影響を与えることを考えると、この時期の子どもたちの心と体と頭の健全な育成においては、学校と家庭と地域がそれぞれの役割をきちんと担わなければならない。そこに学校と家庭と地域が連携して子どもたちを育成しなければならない必然性がある。

子どもを育成する目的と方法をあきらかにし、子どもたちの現在が成就することなくしては、子どもたちの未来のための学校教育も決して成就しないのだという認識が学校と家庭と地域で共有化されることが大切であり、このようなものの見方・考え方の最低限の確認と共有化が学校と家庭と地域の信頼関係を構築するためにはぜひとも必要である。

子どもたちの「未来を生きる力」を育てる学校と、子どもたちの「現在を生きる力」を育む家庭・地域との役割分担が明確に認識された上で、学校と家庭と地域の連携が企画・実行されていけば、その相互の取り組みは子どもたちの生きる力を育成するうえで大きな成果をあげていくであろう。

## ～子どもたちが紡いでくれた地域の絆～

### つるおか子どもの家 13年の歩みから

つるおか子どもの家

代表 富高 国子

#### 1. 『地域が燃えた!』・・・つるおか子どもの家ができるまで

人口1万人。児童公園をひとつも持たない地域で、16年前、「子どもの居場所をつくろう」と母親たちが小さな声をあげた。それがきっかけとなり、地域全体で「子どもの家」の設立に向けての取り組みが始まる。大きな波、小さな波を乗り越えながら。

#### 2. 地域は子どもの『宝箱』

地域は子どもたち、高齢者、ハンディのある人々、いろいろな人が暮らしてこそ、いい地域になる。

「いつも子どもが まん中」を合い言葉に、子どもの家の活動が始まった(スライド上映)

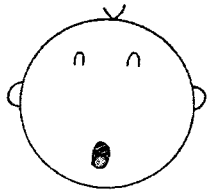
#### 3. 楽しく住みやすい地域をめざして

だけど、好き。だから、友だち。

子どもの数だけ夢がある。おとなも夢を持とう。

強く やさしく 「幸齢社会」を共に生きよう。





平成17年度

# 学 楽 多 塾



由布市挾間町

町民情報室「未来クラブ」・由布市教育委員会

はさま地域  
子ども教室



入塾のご案内

☆歌間町の小学校1年生から中学校3年生までが対象です。(ボランティア作戦室は高校生まで)場所は主に「はさま未来館」と「未来クラブサテライト(向之原駅前)」  
 ☆入塾金はひとり500円(保険料)です。次の教室は毎回別途材料費がかかります。  
 ・トールペイント ・ケーキお菓子教室 ・山河探検  
 ・押し花教室 ・写真教室  
 ☆塾生には特製塾生手帳をお渡しします。自由にいるいろいろな教室に参加できますが、次の教室は開始から終了まで、通しての参加をお願いします。  
 ・パソコン克服教室 ・数字であそぼ ・星空ウオッチング ・そろばんであそぼ  
 ・英語であそぼ ・囲碁克服教室 ・ふるさと探検  
 ☆入塾希望の方は、別紙の申込書と入塾金を添えて「はさま未来館3階事務所」か未来クラブサテライト」に5月23日までに提出してください。

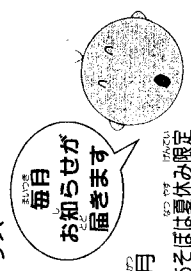
教室一覧(一部を除き、午前中9:30~12:00の間であります。)  
 ※教室により時間を変更する場合があります。

5月28日土曜日 9時~開塾式。バスにて移動し いちご狩り

毎月	第1土	トールペイント・パソコン
	第2土	押し花教室・囲碁克服教室・ふるさと探検・星空ウオッチング
	第3土	まんが教室・パソコン・お茶入門
	第4土	写真教室・囲碁教室・そろばん・コース
山河探検		7月上旬・8月・2月
遊び発見		8月・10月・2月
ケーキお菓子教室		6月・9月・12月
クッキング教室		7月・8月・10月・11月・2月

英語であそぼ・匠の技・詩吟・楽器であそぼ・漢字であそぼは夏休み限定

※先生のご都合で日程が変更になることがあります。  
 ※受講者が少ない教室は開講しない場合もあります。  
 ※受講希望者が多数の場合は抽選になります。(各教室 定員20名)



つどえ! この旗のもとへ



- ☆創作体感作戦室
  - ・まんが教室
  - ・トールペイント
  - ・押し花教室
  - ・写真教室
  - ・匠の技
- ☆自然体感作戦室
  - ・星空探検
  - ・山河探検
  - ・遊び発見
- ☆頭脳向上体感作戦室
  - ・パソコン克服教室
  - ・囲碁克服教室
  - ・数字であそぼ
  - ・漢字であそぼ
  - ・英語であそぼ
  - ・そろばんであそぼ
  - ・ふるさと探検
- ☆創作体感作戦室
  - ・星空探検
  - ・山河探検
  - ・遊び発見
- ☆自然体感作戦室
  - ・星空探検
  - ・山河探検
  - ・遊び発見
- ☆頭脳向上体感作戦室
  - ・パソコン克服教室
  - ・囲碁克服教室
  - ・数字であそぼ
  - ・漢字であそぼ
  - ・英語であそぼ
  - ・そろばんであそぼ
  - ・ふるさと探検
- ☆創作体感作戦室
  - ・まんが教室
  - ・トールペイント
  - ・押し花教室
  - ・写真教室
  - ・匠の技
- ☆自然体感作戦室
  - ・星空探検
  - ・山河探検
  - ・遊び発見
- ☆頭脳向上体感作戦室
  - ・パソコン克服教室
  - ・囲碁克服教室
  - ・数字であそぼ
  - ・漢字であそぼ
  - ・英語であそぼ
  - ・そろばんであそぼ
  - ・ふるさと探検

町民情報室「未来クラブ」・挾間町教育委員会  
 電話 583-1089

# 「学楽多塾」

おまかせしました。町民情報室「未来クラブ」による  
ニュータイプの地域塾！今年も始まるよ。

各教室の通講時間は一部を除き、9時30分～12時の間です。



## 開塾式

(5月28日 土曜日 9時～)  
未来館2階大研修室で式典を行った後、  
栗の山田中農園のイチゴハウスで  
イチゴ狩りをします!(親子で参加できます。)  
イチゴ狩りの参加料は1人500円です。  
(マイクロバスで送迎します。)

## 創作体感作戦室

6月から毎週土曜日の  
午前9時30分～11時30分

- 第1土曜日はトールペイント
- 第2土曜日は押し花体験
- 第3土曜日はまんがの描き方
- 第4土曜日は写真教室

材料費が300円～500円ぐらいかかります。

## 音楽体感作戦室

子どもコーラス  
6月より毎月第4週土曜日  
午前10時～12時

- 夏休み特別教室
- 楽器であそぼ 夏休み特別教室

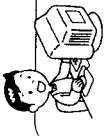
童謡や狭間に伝わる里唄・いろいろ  
楽器に触れていきます。

## 食文化体感作戦室

☆お茶入門  
6月から毎月第3土曜日 9時50分～12時

- ☆ケーキお菓子教室 6月・9月・12月
- ☆クッキング教室 7月・8月・10月・11月・2月

おいしいお菓子ケーキや狭間に伝わる郷土  
料理・お茶の飲み方などを学びます。  
お家の人も一緒にどうぞ。  
材料費が300円～500円ぐらいかかります。



## 頭脳向上体感作戦室

パソコン克服教室  
6月から毎月第1・3土曜日の  
午前10時～12時

ゆめネット狭間の皆さんがやさしく指  
導してくれます。  
※ローマ字がわかる方に限ります。

囲碁克服教室  
6月から毎月第2・4土曜日の  
午前10時～12時

頭と心を鍛えます。

数字であそぼ 夏休み特別教室  
基本的な数字を学びます。

そろばんであそぼ  
毎月第4土曜日 10時～12時

暗算が得意になります。

漢字であそぼ 夏休み特別教室  
漢字の成り立ちから学びます。

英語であそぼ 夏休み特別教室  
英語を楽しく学びましょう。

ふるさと探検  
6月から毎月第2土曜日の  
午前10時～12時

ゆかりの地を訪ねたり、土器を作っ  
たり庄内町まで探検します。

## 自然体感作戦室

星空探検 6月より  
毎月第2土曜日の夜

- 山河探検 7月・8月・2月
- 遊び発見 8月・10月・2月

川の観察、キャンプに野外クッキング・野山の  
観察と、アウトドア派におすすめてです。  
星空ウォッチングは保護者の同伴をお願い  
します。  
※材料費・参加費等がかかることがあります。

## ボランティア作戦室

土 日曜日  
夏休みの活動になります。

未来館で登録の受付をしていま  
す。高校生まで参加可能  
です。

うらにくわしい  
応募方法を書いています。  
いろんな教室に  
チャレンジしてみてくださいね!

## 夏休み特別教室 創作体感作戦室 匠の技

狭間町の職人さん(大工・建具・農園など)が匠の技  
を直接教えてくれます。  
中学生対象



お問い合わせは 町民情報室 未来クラブ 電話097-583-1089 狭間町生涯学習課 電話097-583-1118

## 大好評 本年度も継続へ 挾間町 土曜日の遊び場「学楽多塾」



「まんが教室」で身を乗り出して聞く子どもたち

挾間町の地域づくりグループ「町民情報室未来クラブ」が昨年度に実施した「はさま地域子ども教室・学楽多(がらくた)塾」が、子どもや保護者から好評で、本年度も継続することが決まった。

町教委がクラブに運営を委託。小中学生を対象に毎週土曜日に塾を開いてきた。子どもが高齢者や地域住民と触れ合える機会をつくるとともに、学校週五日制に対応して土曜日の”遊び場”づくりを目指した。

地域住民がボランティアで講師を務め、パソコン操作や食文化、地域の歴史など、楽しみながら学ぶことができる十五の教室を開講した。

町教委は当初、参加者を五十人程度と考えていたが、予想を大きく上回る百八人が登録し、年間を通じて延べ約千六百人が利用。保護者からも「土曜日に子どもが過ごせる場ができた」との声が寄せられたほか、町内外からの行政視察も相次いだ。

こうした反響を受けて、本年度は新たに六つの教室を開講。これまでは毎週土曜日だけの開催だったが、新たに始まる「放課後チャレンジ教室」では水曜日の午後(月二回)、町内の小学校に講師が”出張”して、児童とともにさまざまな活動に取り組む。

このほか▽町内上市地区の田んぼを借りて、わらこずみを作ったり、レンゲソウ遊びをする「遊び発見」▽大工や建具店などの若手経営者が小学校高学年～中学生に技術を”伝授”する「匠(たくみ)の技教室」(長期休暇中だけ)といった教室を予定している。

町教委生涯学習課は「学楽多塾の指導者には技術面だけでなく、社会教育の面からの指導もお願いしている。今後も地元の方に協力してもらい、内容を充実させたい」と話している。

[2005年04月08日09:20]



## 挾間町「学楽多塾」の“出張”教室 放課後も大好評



心を込めて手作りの小物入れを作る児童

工作や英語やせうま作り児童らはつらつと

挾間町の地域づくりグループが実施する「はさま地域子ども教室・学楽多(がらくた)塾」で、町内の小学校に講師が“出張”する「放課後チャレンジ教室」が好評だ。保護者も「放課後の空き時間を利用できるので助かる」と話す。

学楽多塾は町教委が昨年から、「町民情報室未来クラブ」(西田和昭運営委員長)に委託して実施。小・中

学生を対象に毎週土曜日、地域の大人がボランティアで講師となり、パソコン操作や地域史、食文化などの教室を開講。現在は百七十九人が「塾生」として登録している。

放課後チャレンジ教室は学楽多塾のいわば“特別編”。授業が通常より早く終わる毎週水曜日の放課後、町内の挾間、由布川両小を除く四小学校に月一回ずつ講師が出向き、工作教室や英語教室、やせうま作りなどを教えている。

石城西部小学校(伊東賢文校長)では毎年、運動会に来てくれた地域の高齢者に手作りの品を贈っている。このほど開かれた教室では、全校児童十一人が二十三日の運動会でプレゼントする牛乳パックを使った小物入れ作りに挑戦。講師の丁寧な指導を受け、子どもたちは笑顔を見せながら作業に励んだ。

挾間町は十月一日、庄内、湯布院両町と合併して「由布市」となるが、町教委生涯学習課は「合併にかかわらず、今後も学楽多塾の取り組みは継続していく」としている。

[2005年09月25日09:23]